

<先週の説教から>

『ルカ 71 — 娘よ、起きなさい』

武田真治 牧師

イザヤ書 25:7~10 ルカ福音書 8:49~56

今日の出来事は、41節の「ヤイロという人が来た。この人は会堂長であった、彼はイエスの足もとにひれ伏して、自分の家にきてくださるよう願った」ことから始まっています。「会堂長」とは、ユダヤ教の会堂（シナゴグ）の責任者のことで町の人々から推されて就く役職です（その他に下役と会計係とが居ます）。その町の顔役、町長のような存在でした。その人が、たくさんの町の人たちが集まってきている中で、まだこの時、海の物とも山の物とも分からない存在で、しかも従来のユダヤ教の教えと異なる福音を宣べ伝えているイエス様の「前に」「ひれ伏して」いるのです。この姿はユダヤ教の人たちからは、かなり問題視される、批判を受ける行動と言い得ます。それにも関わらず、まさに恥も外聞もなくイエス様をお願いするのは、ひとえに「一人娘が死にかけていた」からでした。なんとかその病を癒して欲しいと必死にイエス様をお願いしたことでしょう。それに応えて、イエス様も「彼の家に行こうと急がれた」のでした。

ところが「群衆が押し迫った」いたため、身動きが取れない状態になり、しかも、出血のとまらない女性が「うしろから、そっとイエス様の服の房を触ったのでした」。その行為をイエス様がとがめられ「誰かが触った」と犯人捜しを始められたのでした。隣りで見ていたであろうヤイロは、気が気ではなかったのではないのでしょうか？ 早く行かないと娘が死んでしまうと。なのに、どうしてイエス様は小さな事にこだわっているのかと。ただ、まさにヤイロが心配した通りに、彼の家から人が来て「お嬢さんは亡くなりました。これ以上、先生（＝イエス様）を煩わすことはありません」と告げたのでした。ヤイロはどんなに落胆したことでしょう。『間に合わなかったか。もっと早く行ってあげれば』と深く後悔したのではないのでしょうか。

しかし、イエス様は『恐れることはない。ただ信じなさい。そうすれば、娘は救われる』と言われ、娘を生き返らせるこ

とを約束されたのでした。そして、まさにその言葉通りに、この後、見事に、その娘を蘇えさせられたのでした。

この出来事で重要な点は、この蘇りの奇跡は、その娘の信仰によってではなく、父親ヤイロの信仰によって起こされているという点です。周囲の人々の目や批判に晒されることも顧みず、ただひたすらにイエス様の前にひれ伏し、娘の病の癒しを乞い願った姿に（勿論、娘可愛さであったかもしませんが、イエス様以外にはもはやこの病を癒せる人はいないとおもっていたからです）、イエス様はそれだけの信仰を見られたのでした。この『ただ信じなさい』というイエス様の言葉は、既に彼に“信仰があること”が前提になっていると言い得るのです。そして、この出来事は、私たちが“自分の信仰によって”愛する者が癒される、更には『娘（＝子ども）は救われる』可能性を示してくれているのです！

【今週の集会】

- *聖書研究・祈祷会 I. 3月25日(水) 20:00
- II. 3月26日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記

祈祷主題: 受難週早天祈禱会を覚えて

担当者: (水) MY (木) KT

祈りに覚える人 KHさん KMさん

*ひつじ雲の会 3月23日(月) 10:00~

【教勢報告】

主日礼拝 男19 女45 計64

祈祷会 I. 男3 女2 計5 II. 男1 女8 計9

日曜学校 幼稚科6 小中科8 計14

【次週礼拝】 3月29日(日)

聖書: 詩編 59:1~18

ヨハネによる福音書 19:1~12

説教: 「詩編59—罪もなく過ちもない彼を

~受難週によせて~」武田真治 牧師

讃美歌: 296(1)、32、聖歌隊(309)、461、462、

【次週当番表】 37(1)

司式: IH長老 奏楽: SY 礼拝: HN長老

献金: OK OK 受付: HH OK

会堂準備: IN IY IA IK

看板: II 週報: TM お花:

【次週集会予定】

礼拝前: ・日曜学校 ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習

・臨時長老会

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2026年 3月 22日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549